

2 各部署等のFD活動

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 先導学類

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	3	教務・学生生活委員長のもと、シラバス点検及び改善指導を行い、融合学域全科目のルーブリック記載を必須とし、シラバス内容の充実・評価基準の明確化に取り組んだ。また、Web形式で意見交換会を開催し、融合学域の授業科目や教育方針等について教職員間で情報共有や意見交換を行った。令和3年度は設置初年度であり、今後の学年進捗とともに授業内容をふり返り、改善を続けていく必要がある。授業評価アンケート結果の活用、FD研修会など、情報共有・問題検討の機会のさらなる充実を図ることとする。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画 FD研修会の開催を検討している。例えば、様々なオンラインツールを活用した授業方法や、ALと組み合わせた効果的な教育手法の共有など。

【令和3年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に關係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
第1回融合学域FD研修会	7月25日	「現在の米国(シリコンバレー)の状況報告/教育Dx」	先導学類長, 教務・学生生活委員長 ほか21名	融合学域で実施	
第2回融合学域FD研修会	9月22日	融合学域でのFDについてのディスカッション	融合学域長, 先導学類長, 観光デザイン学類長, 教務・学生生活委員長 ほか15名	融合学域で実施	
第3回融合学域FD研修会	10月20日	融合学域でのFDについてのディスカッション	教務・学生生活委員長 ほか12名	融合学域で実施	
第4回融合学域FD研修会	11月24日	秋田先生からのサバティカル報告(中国・深圳)	教務・学生生活委員長 ほか12名	融合学域で実施	
第5回融合学域FD研修会	12月22日	VBLアントレプレナーコンテスト受賞報告	先導学類長, 教務・学生生活委員長 ほか18名	融合学域で実施	
第6回融合学域FD研修会	1月26日	アカデミックスキル, プレゼン・ディベート論及び学術リテラシーの定義について	先導学類長, 教務・学生生活委員長 ほか25名	融合学域で実施	
第7回融合学域FD研修会	3月23日	学生募集・広報等のための融合学域3学類の特長・強みについて	先導学類長, 教務・学生生活委員長 ほか20名	融合学域で実施	
国際基幹教育院FD研修会	2月21日	『スタンフォードと睡眠医学—最高の睡眠で最幸の人生を—』	融合系9名	共催: 融合学域, 教学マネジメントセンター, 保健管理センター	
先導学類懇談会	12月15日	学生の留学プログラム等, 先導学類学生の教養に関する意見交換	先導学類長 ほか24名		
研究シーズ紹介	7月14日	融合研究域教員の研究紹介 非侵襲イメージング: 体の中を撮し出す	融合学域長, 先導学類長, 先導学類長, 教務・学生生活委員長 ほか28名	融合学域で実施	
研究シーズ紹介	9月8日	融合研究域教員の研究紹介 ある社会課題の解決に向けて	融合学域長, 先導学類長, 観光デザイン学類長, 教務・学生生活委員長 ほか29名	融合学域で実施	

名称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
研究シーズ紹介	10月13日	融合研究域教員の研究紹介 バイオマス由来のものづくり～透明な木～	融合学域長, 先導学類長, 観光デザイン学類長, 教務・学生生活委員長 ほか24名	融合学域で実施	
研究シーズ紹介	11月10日	融合研究域教員の研究紹介 相互作用と場をデザインするー他者の見方・考え方・感じ方を起点に	融合学域長, 先導学類長, 観光デザイン学類長, 教務・学生生活委員長 ほか29名	融合学域で実施	
研究シーズ紹介	12月8日	融合研究域教員の研究紹介 多様な生命データを扱った経験から	融合学域長, 先導学類長, 観光デザイン学類長, 教務・学生生活委員長 ほか31名	融合学域で実施	
研究シーズ紹介	2月9日	融合研究域教員の研究紹介 社会の合理化と文理融合	融合学域長, 先導学類長, 観光デザイン学類長, 教務・学生生活委員長 ほか30名	融合学域で実施	

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
3	<p>融合学域FD研修会を7回実施し、教育方法改善等について意見交換を行った。 教務・学生生活委員会委員が、シラバス点検及び改善指導を行い、融合学域全科目のルーブリック記載を必須とし、シラバス内容の充実・評価基準の明確化に取り組んだ。 令和5年度以降開講のプロジェクト演習科目、鍛練科目、確立科目及び海外派遣プログラムの実施方針等について、教務・学生生活委員会及び海外留学・受入WGで継続的に審議し、教育研究会議に中間報告等を行い、融合研究域全教員から意見を集約し、検討を進めた。 教育研究会議に引き続き、融合研究域教員6名が研究シーズ紹介を行い、教員の相互理解を深めた。 今後も学年進捗とともに授業内容をふり返り、改善を続けていく必要がある。</p>

【令和4年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

<p>令和4年度に引き続き、FD研修会、教員の研究シーズ紹介等を実施し、教育方法の改善、融合研究の推進に努める。 令和5年度から融合学域3学類体制となるため、相互の連携を図り、融合学域としての教育組織体制を整備していく。</p>
--

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 観光デザイン学類

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	—	—
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画
		—

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備 考	SGU
第1回融合学域FD研修会	7月25日	「現在の米国(シリコンバレー)の状況報告/教育Dx」	先導学類長、教務・学生生活委員長 ほか21名	融合学域で実施	
第2回融合学域FD研修会	9月22日	融合学域でのFDについてのディスカッション	融合学域長、先導学類長、観光デザイン学類長、教務・学生生活委員長 ほか15名	融合学域で実施	
第3回融合学域FD研修会	10月20日	融合学域でのFDについてのディスカッション	観光デザイン学類長、教務・学生生活委員長 ほか12名	融合学域で実施	
第4回融合学域FD研修会	11月24日	秋田先生からのサバティカル報告(中国・深圳)	観光デザイン学類長、教務・学生生活委員長 ほか12名	融合学域で実施	
第5回融合学域FD研修会	12月22日	VBLアントレプレナーコンテスト受賞報告	先導学類長、教務・学生生活委員長 ほか18名	融合学域で実施	
第6回融合学域FD研修会	1月26日	アカデミックスキル、プレゼン・ディベート論及び学術リテラシーの定義について	先導学類長、教務・学生生活委員長 ほか25名	融合学域で実施	
第7回融合学域FD研修会	3月23日	学生募集・広報等のための融合学域3学類の特長・強みについて	先導学類長、教務・学生生活委員長 ほか20名	融合学域で実施	
国際基幹教育院FD研修会	2月21日	『スタンフォードと睡眠医学—最高の睡眠で最幸の人生を—』	融合系9名	共催：融合学域、 教学マネジメントセンター、 保健管理センター	
令和4年度第1回観光デザイン学類ワークショップ	1月25日	令和5年度開講科目の実施について	観光デザイン学類長、教務・学生生活委員長 ほか18名		
令和4年度第2回観光デザイン学類ワークショップ	3月24日	令和5年度開講科目の実施について	観光デザイン学類長、教務・学生生活委員長 ほか18名		
研究シーズ紹介	7月14日	融合研究域教員の研究紹介 非侵襲イメージング：体の中を撮り出す	融合学域長、先導学類長、観光デザイン学類長、教務・学生生活委員長 ほか28名	融合学域で実施	

研究シーズ紹介	9月8日	融合研究域教員の研究紹介 ある社会課題の解決に向けて	融合学域長, 先導学類 長, 観光デザイン学類 長, 教務・学生生活委員 長 ほか29名	融合学域で実施	
研究シーズ紹介	10月13日	融合研究域教員の研究紹介 バイオマス由来のものづくり～透明な木～	融合学域長, 先導学類 長, 観光デザイン学類 長, 教務・学生生活委員 長 ほか24名	融合学域で実施	
研究シーズ紹介	11月10日	融合研究域教員の研究紹介 相互作用と場をデザインするー他者の 見方・考え方・感じ方を起点に	融合学域長, 先導学類 長, 観光デザイン学類 長, 教務・学生生活委員 長 ほか29名	融合学域で実施	
研究シーズ紹介	12月8日	融合研究域教員の研究紹介 多様な生命データを扱った経験から	融合学域長, 先導学類 長, 観光デザイン学類 長, 教務・学生生活委員 長 ほか31名	融合学域で実施	
研究シーズ紹介	2月9日	融合研究域教員の研究紹介 社会の合理化と文理融合	融合学域長, 先導学類 長, 観光デザイン学類 長, 教務・学生生活委員 長 ほか30名	融合学域で実施	

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
3	<p>融合学域FD研修会を7回実施し、教育方法改善等について意見交換を行った。 教務・学生生活委員会委員が、シラバス点検及び改善指導を行い、融合学域全科目のルーブリック記載を必須とし、シラバス内容の充実・評価基準の明確化に取り組んだ。 令和5年度以降開講のプロジェクト演習科目、鍛練科目、確立科目及び海外派遣プログラムの実施方針等について、教務・学生生活委員会及び海外留学・受入WGで継続的に審議し、教育研究会議に中間報告等を行い、融合研究域全教員から意見を集約し、検討を進めた。 教育研究会議に引き続き、融合研究域教員6名が研究シーズ紹介を行い、教員の相互理解を深めた。 今後も学年進行とともに授業内容をふり返り、改善を続けていく必要がある。</p>

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

令和4年度に引き続き、FD研修会、教員の研究シーズ紹介等を実施し、教育方法の改善、融合研究の推進に努める。
令和5年度から融合学域3学類体制となるため、相互の連携を図り、融合学域としての教育組織体制を整備していく。

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 人文学類

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	3	授業評価アンケート、卒業生アンケート、教員相互の授業参観・授業評価、成績評価基準等の作成・検証、FD研修会については、コロナ禍の影響があったために当初計画をやや縮小した部分もあるが、ほぼ着実に実施している。特に授業参観については、対面型と、遠隔型(双方向とオンデマンド)との両方で実施し、FD研修会では遠隔授業の方法について一層の習熟・スキルアップができた。シラバスの点検については教務委員会の業務の一環として実施されているが、FD委員会との協働が必ずしもまだ十分とは言えない。成績評価に関しては評価基準をシラバスに明記するよう全教員に促しており、またその点検も教務委員会主導で行っているが、やはりFD委員会との協働体制がまだ十分とは言えないところがある。成績評価分布については調査結果を踏まえて学類教員で情報を共有する予定である。また、令和3年度授業評価アンケート結果も令和2年度分に引き続き学類HP上で公開した。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画
		令和3年度の授業評価アンケートから、学生の授業時間外学修について若干の減少傾向がみられた。これを踏まえ、時間外学修を向上させるための方策を学類のFD活動として行う。教員内で蓄積されたノウハウを活かすためにFD研修会を開催し、学類教員の教育能力向上を図る。また、令和3年度の卒業生アンケートからは、プレゼンテーション能力の向上についての評価にやや低下があったので、FD委員会で対応策を検討・考案して、FD研修会等で学類教員に提案を行う。

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input checked="" type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備 考	SGU
人文学類FD研修会	10月19日	英語レポート・ライティング指導法:附属図書館ライティングセンター利用案内と指導事例紹介(ライティングセンター、クオン・ヒージョン先生の講習会)	高山学類長、上田専攻長、FD委員ほか約30名		○

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
3	教員相互の授業参観、授業評価アンケート結果の活用、成績評価基準等の作成・検証、FD研修会については、幾つかの不測の事態により、当初計画よりもやや縮小した面もあったが、ほぼ着実に実施している。特に授業参観については、対面型と遠隔型(双方向)との両方で実施した。また、FD研修会では、英語レポート・ライティング指導法について一層の理解を深めることができた。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

令和4年度の授業評価アンケート結果を見る限り、本学類の教育は総じて学生から高く評価されていることが分かる。今年度は、基本的にはこれまでの取り組みを踏襲しつつ、学類のFD研修会や公開授業の実施などを通じて、学類教員の教育能力向上を図ることにいっそう意を注ぐ予定である。これに加えて、更に多くの学生が授業の満足度を高め、達成感が得られるよう、各方面からの意見や助言を得ながら委員会としても積極的に対応策を検討していきたいと考えている。

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 法学類

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	4	ハイブリッド授業における各種デバイスの活用方法について、先端的に取り組んでいる教員の実践報告をもとにFD研修会を行った他、初学者ゼミの担当者を中心に、コロナ禍での学生の学修環境や授業に臨む姿勢について意見交換し、自発的な予習・復習を推進する方法について検討した。英語での授業の効果的实施方法についても、ほぼ毎回の学類会議で意見交換した。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画
		高評価を得ていることから、法学研究科との連携強化等の着実な遂行を図る。

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
① 授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
② 卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input checked="" type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
法学類/法学・政治学専攻合同FD研修会	6月14日	リモート授業に対する学生・教員の技術的課題と、学生参加の在り方	学類長、専攻長ほか25名		○
法学類FD研修会	12月13日	学域GS言語科目のカリキュラム上の位置付け	学類長、教務委員長ほか20名		○
法学研究科・法学類合同FD研修会	12月20日	法学類・法務専攻の連携授業の中身	学類長・法学研究科長ほか32名		○
初ゼミ担当者向けFD研修会	2月14日	初年次教育を念頭に置いたTeamsの活用例と応用の可能性	学類長、教務委員長ほか、13名		○

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
3	会議システムによるリモート授業のための注意点や可能性について、また、言語関係のカリキュラム改正をめぐる問題や、法務専攻との連携など多様なテーマについてのFD研修会を開催し、意見交換を行ったほか、リモート授業への自由な相互参観に関して申し合わせを行った。

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

アンケートを見る限り、学生は概ね、現行のカリキュラムに満足していると思われるが、依然として学習時間が極端に少ない学生が見受けられるので、授業ごとに、具体的な課題を与えて、自宅での学習時間を増やすよう促すことにした。また、学生が現在、学んでいることが、社会における具体的な課題解決に繋がっていることを把握できるような事例を授業にできるだけ盛り込み、課題にも反映させるよう各教員に要請することにした。

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 経済学類

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	4	2回のFD研修会のほかに、以下のFD活動を実施した。 ・経済学類ゼミナール大会 企画・運営 ・教員と学生懇談会 企画・運営 コロナ禍のなかで適切な授業運営ができるような体制を整え、さまざまな遠隔授業の方法について情報交換ができるようになった。また、教員と学生との懇談会を設けたことにより、学生側の問題点が明らかになり、教員側からの適切な指導が可能になった。以上、オンライン授業に伴う問題点を浮き彫りにし、その技術の習得と改善に積極的に取り組み「4: 大いに評価できる」と自己評価した。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画 ここ数年、学域GS言語科目について、学生への効果の面で授業運用や評価方法などの試行錯誤を行っている。この点で、学習方針や授業担当者ごとの運用の影響をFD研修会などで洗い出し、改善に向けて検討していく。

【令和3年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(ローテーション科目での取り扱い内容について報告・共有した。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
科研費申請に関する報告会	6月2日	科研費大型種目へのステップ、審査委員からみた申請に関する報告	経済学類長, FD委員 ほか25名		
学域GS言語に関する研修会	8月4日	「学域GS言語」のシステム利用方法並びに実践報告	FD委員 ほか12名		

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
4	2回のFD研修会のほかに、以下のFD活動を実施した。 ・経済学類ゼミナール大会 企画・運営 ・教員と学生懇談会 企画・運営 特に後者に関しては、学生のニーズなども聴取することでカリキュラム改訂への反映や、授業運営方法の見直しなどの議論に繋がっており、「4:大いに評価できる」とした。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

ここ数年、学域 GS 言語科目を中心とする教員ローテーション科目について、学生への効果や公平な負担感の点で授業運用や評価方法などの試行錯誤を行っている。この点で、学修方針や授業担当者ごとの運用の影響を FD 研修会などで洗い出し、改善に向けて検討していく。

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 学校教育学類

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	4	令和3年度も、年間を通しコロナウイルス感染拡大の影響を受け、当初の計画から若干変更せざるを得ない状況となった。特にFD研修会は当初の計画3回を下回る1回の実施となったが、県教委協力の元、学類特有の問題に焦点を絞ることができた。また、令和2年度はFD研究授業等の開催を見送ったが、令和2年度はコロナ禍でも、2回の公開授業を遂行し、実行できる範囲内で可能なことは全てできたことから、「4:大いに評価できる」と自己評価した。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画 令和3年度の卒業生アンケートは、新型コロナウイルス感染症感染防止のために学位記伝達式が短縮開催となったことから、アカンサスポータルから事前に回答することを予告し、学位記伝達式当日のその場にてアンケートを実施した。ほぼ昨年同様の回収率により本アンケート結果の解釈としては、学類の学修成果に基づく学習状況についての自己評価において、全ての項目で十分に達成しており、教員養成という本学類のミッションを達成できたのではないかと考えられる。なるためノートについては、コロナ禍における実施の模索があったことから、次年度以降は更なる対策を講じる必要があると感じたと同時に、富山大学との共同教育課程にマッチした内容が求められる。

【令和3年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(令和5年度に複数回の研究授業を実施を計画している)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
令和4年度第1回FD研修会	4月14日	「新しい『教師になるためのノート』の教員向け解説」	山本学類長ほか約40名		
令和4年度第2回FD研修会	5月30日	「遠隔授業システムの機器を使った接続確認と見え方の確認」	武居副学類長ほか15名		
令和4年度第3回FD研修会	8月22日	「Society 5.0時代を先導する教育の模索」金沢大学 コラボレーション推進室 福田晃先生講演	山本学類長ほか(附属学校等からの参加者を含め)120名以上		
令和4年度第4回FD研修会	3月9日	「共同教員養成課程の授業実践報告と提言」	山本学類長、林教学マネジメントセンター副センター長ほか		

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
4	<p>令和4年度は、コロナウイルス感染拡大の影響から完全に脱することはなかったものの、多くの活動を通常の状態に戻して実施することができた。今年度は金沢大学と富山大学が共同教員養成課程をスタートさせる年となった。新たな課程の担当に向けてスムーズな移行ができるよう、学類FD研修会はその目的に特化したもの3回を含む計4回を実施した。内1回は富山大学の同課程担当教員にも参加を呼びかけ、新規に導入された遠隔授業システムで両大学を結んで行う初の研修会となった。両大学間で活発な議論が行われたことは大きな成果であった。全学類学生を対象とするアンケートもFD委員会の担当となり、5月と10月に計2回実施した。多くの学生の声を集めることで教育全体の質の向上へと繋げてゆく。研究授業の実施については実施予定時期にコロナウイルス感染拡大が重なる事態が想定されたことなどもあり、当初の計画を変更し、次年度に2回実施することとなった。そのような中でも、可能な活動をほぼ実施できたことから、「4:大いに評価できる」と自己評価する。</p>

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

<p>「令和4年度授業評価アンケート」に関して、所属教員には学類会議等で調査実施に係る協力依頼、また結果の確認とその後の活用に係る依頼を行った。令和4年度からは富山大学との共同教員養成課程が開始された。担当授業が完成年度に向かうに従い増加するこれからの3年間は特に、より多くの関心を向けられるように、委員会が結果の活用に向けて通知する機会をこれまで以上に増やす必要があると考えている。今年度の調査については、共同教員養成課程に所属する学生の回答率が他学類に比べて低いことが認められる。この新課程には1年次のみ在籍で、当調査の制度や回答方式にまだ不慣れであったことなど、やむを得ない事情があったことが考えられるが、これについては通知をさらに徹底することにより改善が期待できる。また令和5年度のアンケート実施について、調査対象授業科目を担当する教員には、メールによる実施協力依頼がすでになされて</p>

いるが、学類会議などにおいても関心を継続的に喚起するなどして今後の回答率が向上するように働き掛ける。

学校教育学類は所属学生全員に対して、『教職に就くことについての意識調査』を一年に二回実施している。この調査を通じて学生たちの教職に対する意識を教員が理解し、授業や日々の学生指導の質の向上に活用することが目的に含まれている。同調査では授業や学生生活における意見なども自由に記述してもらいが、それらは個人情報に十分な配慮を施した後に教員に共有され、学生からの率直な声を得る重要な資料となっている。調査結果は教員の意識向上、また研修会のテーマの参考とされるなど、これまでも積極的に活用されてきている。また調査に協力してくれる学生にも、これを定期的に自らの将来への意思を確認する機会としてもらい、学修やその他の活動をより充実したものとする契機とできるように指導していく。

3月に卒業者のみを対象に行われたアンケートについては、高い回答率でより信頼性のある結果が得られたと考える。学修の達成度を問うそれぞれの項目について「十分に達成している」の数値と「ある程度達成している」を合わせると80%の回答を得られた。また、学類での学生生活に対する満足度については53%であった「十分に満足」の回答と「やや満足」の数値を合わせると90%以上となり、大きな問題の無い数値が得られていると考えられるが、「十分に満足」の数値がより高くなるよう、結果を学類会議で共有し、FD研修活動の指針作成の重要な参考資料とするなどし、切な方策を実施する。

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 地域創造学類

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	3	これまで学類においては十分行われていなかった授業参観について、システムを構築し、全教員参加のもと進めることとした。システムに改善の余地はあるが、授業参観による授業改善の道を切り開くことができた。また、学類必修科目「地域創造学」のテキストを作成するために研究会を開催し、各教員の研究・教育実践の紹介を進めている。シラバスの記載のチェックは昨年度及び今年度と行い、ほぼ必要項目は記載が徹底している。成績評価方法の検証が十分に行われていないため、次年度の課題となる。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画
		学類再編にともない、カリキュラムも大幅に変わったので、授業評価アンケート等の分析に基づいて、これらについての検証を行う。授業参観と絡めて、授業改善のためのFD研修会を実施する。

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に關係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
地域創造学類FD研修会	9月から毎月1回 第4木曜日	学類教員の教育・研究実践報告	地域創造学類長・FD委員長ほか、平均9名(専任教員の50%)	録画し、動画を学類教員および学生に公開	

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
4	教務・学生生活委員会と合同実施のシラバス点検、全教員参加の授業参観・授業評価、卒業生アンケート・授業評価アンケートの公表、成績評価分布の共有など、FD活動の主幹となる部分について滞りなく実施した。また、9月以降毎月1名の教員によるFD研修会(教育・研究実践報告)を実施し、教育研究の質の向上を図るとともに、研修会の動画を学生にも公開し学生の学びに役立てている。卒業生アンケートの回収率が低い点が課題であるが、大いに評価できるFD活動であったといえる。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

令和4年度の授業評価アンケートからは、予習・復習時間が少ないことが課題として挙げた。令和5年度からはシラバスに予習・復習のための教材や学修時間の記載を義務付けたので、この点について検証を行うとともに、アンケート結果を踏まえた教育方法の改善について検討を行う。

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 国際学類

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	3	昨年多くの課題が析出されながら、本年度もコロナ対応を最優先に学類運営を行わなければならなかったことから、析出された課題に対して必要な取り組みはなされたものの、十分ではなかったと反省される。このため自己評価を「概ね評価できる」にとどめざるを得なかった。ここまででも指摘してきたように、本年においても昨年析出された課題についてFD研修会等の実施を通じ、より深い考察が加えられたことは評価されるべき点であると考え。こうした成果を踏まえ、来年度に向けて学類改革のより広い視野を踏まえつつ、学類の教育内容のさらなる有機化を検討していきたい。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画 教員の授業参観の制度化(ないしはそれに代わる他の教員の教育内容な教育手法の相互認知を通じた連携体制の強化)については、本年度の研修会等における検討によりその実現の第一歩が記された。次年度は学類システム改革と連動させつつ、こうした試みをより具体的な次元で実践することが必要となろう。また上に触れた各学年末のゼミ学習の「学類発表会」を「英語で学ぶ」という課題を含む、AL活動の濃密化の仕掛けとしてより具体的に設計していくことも求められる。

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバス標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input checked="" type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している <input checked="" type="checkbox"/> その他(授業参観の実質化に向けは学類会議・FD研修会等において協議)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に關係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
2022年度第1回国際学類FD研修会	9月29日	教職課程履修指導のポイントについて(学域教職WG座長 古市大輔教授)	13名	学域FDとの合同企画	
2022年度第2回国際学類FD研修会	2月17日	「国際連携教育としてのCOIL/VE型授業の事例紹介」	11名	学域FDとの合同企画	
2022年度第3回国際学類FD研修会	3月10日	初学者ゼミⅡ(プレゼン・ディベート論)の授業整備について	11名		

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
3	<p>本学なにかんずくその国際化を先導すべき役割を期待される国際学類のFD活動において、-ポスト・コロナ期における授業改善の一環として、Zoomやskype等を利用した遠隔技術の活用なにかんずく、COIL型授業の設計導入が強く提唱されるところであるが、本学類では先駆的に中野涼子教員を中心にシンガポール国立大学とのCOIL型授業が実践され、良い成果を上げている。こうした成果をさらに敷衍させるため、COIL型授業の導入事例を主題に、人間社会学域との合同企画による第2回FD研修会が企画・実施され、来年度以降のCOIL型授業の更なる拡大の地盤固めができたと判断される。</p>

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

こうした課題についても来年度のFD研修会等において随時話題に取り上げ、検討を加えていきたい。

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 数物科学類・数物科学専攻

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	3	前年に比べ対面授業の率が増えたとはいえ、オンライン授業を行わざるを得ない状況が続く中、FDを通して、遠隔と対面に共用で共用できる教材開発がおこなわれ、講義の質の改善が見られた。ALAIは申請がなかったが制度の活用を進めていきたい。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画
		授業評価アンケートや卒業・修了者アンケートの結果から、学類・専攻の重要な基礎的科目の理解度に対する自己評価の改善が必要と考えられる。それらの科目に対するTA・ALAの採用計画策定に取り入れるとともに、学生の基礎力向上のための教育方法の検討を行う。

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
実施なし					

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
3	ほぼコロナ対応はなくなり対面授業の率が増えたとはいえ、Q4はオンライン授業を行わざるを得ない状況が頻発した。FDを通して、遠隔と対面に共用で共用できる教材および、自習用教材の開発が行われ、講義の質の改善が見られた。ALAの申請はなかったが制度の活用を進めていきたい。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

R3年度は卒業・修了者に対するアンケートの回答者数が揃わなかったが、R4年度はアンケート実施数を改善する予定であり、それに基づいて、結果の周知を行い、カリキュラムの改善につなげていきたい。

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 物質化学類・物質化学専攻

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	3	物質化学類ではFD研修会において、教員による自身の授業への取組みの紹介を継続的に行っている。講義形態の変更についても各種意見交換の機会を積極的に作ることで、状況に応じた教育方法改善に向けて十分な努力を行うことができた。あわせて、月例会議における授業評価法や改善策に関する話し合いを継続することで、FD活動への意識の共有化や改善に取り組んできた。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画
		授業評価アンケート結果について、理工学域Webサイトにて公表している。授業評価アンケートに対する教員の対応策の文書化については、各教員にリフレクションペーパーの作成および保管を義務付けている。これらの内容をもとに、学類内において毎年FD研修会を開催し、アンケート結果を踏まえた教育方法の改善について継続的に議論している。

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input checked="" type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(教務委員と連携し評価基準の明確化、および適正な評価の付与を周知している。)

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
第21回 FD研修会	9月13日	有機化学を行っている教員の実践報告とコロナ禍における研究室指導に関する情報共有	物質化学類長、他15名	応用化学コース	

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
3	今年度はこれまで実現できなかった教員相互による必修授業の参観を開催した。参観後に意見交換を行い、優れた点、問題点を共有するなど、状況に応じた教育方法改善に向けて議論した。また、月例会議において授業評価方法や改善策に関する話し合いを継続し、FD活動への意識の共有化や改善に取り組んだ。FD研修会を一部実施し、卒業生のアンケートと指導教員のアンケート結果から、授業の改善・教育効果の向上を図った。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

卒業論文をまとめる際の積極的努力や独自問題解決の自信において、卒業生の意識が向上していたが、実践活動の有益性において高い水準でありつつも、若干の低下が見られたことから、研究計画の重要性及び課題に対する理解度向上を狙い、教員間でのディスカッションの場を研修会の中で儲ける。

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 機械工学類・機械科学専攻

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	3	昨年度に引き続きオンライン講義を実施することになったが、これまでに実施してきたオンライン講義対策が機能しており、組織的に各教員の教育能力や教育技術が向上できていると考えられる。また、これからの新しい教育展開を3学類FD研修会を通じて考える機会を提供でき、従来の延長上にはない教育方法の改善が期待できる。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画 機械工学類(機械科学専攻)と理工学域(自然科学研究科)の授業評価アンケート結果の比較を行い、機械の担当講義の良い点、悪い点を把握し組織的に更なる改善を図っていく。また、新カリキュラムの卒業生アンケートの初めての結果を得たので、今後のカリキュラムの修正に活かしていく。

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input checked="" type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
理工3学類合同FD研修会	3月6日	留学生の研究室受け入れに伴うトラブル事例やその対処方法および留学生の保健管理センター利用状況の報告	自然研研究科長、機械工学類類長、FD委員ほか57名		○

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
3	昨年度の授業評価アンケートの集計結果及びその分析結果を教員間で共有した。また、新方式の授業評価アンケートの問題点について、学類会議で意見を募り、FD委員会へ報告した。さらに、留学生の受け入れに伴う諸問題の事例とその対策に関して理工3学類合同FD研修会を開催し、教員の問題対処能力の向上を図った。この研修会に先立って、留学生受け入れに伴う諸問題に関するアンケートを理工3学類の教員に対して実施した。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

授業評価アンケートのマイナスの評価内容について、機械工学類の教員間で共有し、今後のアンケートでマイナスの評価がつかないように各教員へ授業の改善を働きかける。
--

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 フロンティア工学類・フロンティア工学専攻

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	4	今年度、フロンティア工学類の第一期生が卒業し、学類のカリキュラムが一巡した。準備期間が非常に短く、内容を十分に詰められないままの新学期のスタートであった上に、コロナ禍に見舞われたにも関わらず、現場の教員の奮闘により、なんとか卒業を送り出すことができた。これまでに明らかとなった問題点を踏まえて、カリキュラムの修正への検討も開始しており、新専攻の立ち上げと合わせて、よりよい学類を目指したFD活動が継続的に行われている。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画
		今年度カリキュラムが一巡して、いくつかの課題が見られており、カリキュラムの修正を含めて検討が始まっている。そのための参考資料として今後本格的に活用する予定である。

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
2022 年度理工3学類合同 FD 研修会	3月6日	1.留学生の経験と受入れ研究室の経験、双方をより良いものにするために 2.保健管理センターにおける留学生対応について	57名		○

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
4	フロンティア工学専攻の1年目にあたり問題ないスタートをきれた。自由度の高い特色あるカリキュラムで、異分野の基礎を学ぶとともに高い専門性をもつ科目を学修できる。また、フロンティア工学類のカリキュラムの課題として、3学類内の共通科目について、各学類での重点項目が異なるため、再編し運用の見直しを行った。シラバス等の記入内容について引き続き周知・注意喚起するとともに、よりよい学類を目指したFD活動を継続的に行った。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

アンケート結果を踏まえ、引き続きフロンティア工学類のカリキュラムを見直すとともに、フロンティア工学専攻のカリキュラムについても分析し改善を進める。

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 電子情報通信学類・電子情報通信学専攻

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	3	授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートなどFDに関わる情報を共有し、意見交換できるよう、LMS上にサイトを立ち上げた。フレックス授業やAL授業に向けた研修会を2回行った。また、授業評価アンケートの結果を基に、各教員が各自の目標を設定し、その結果を翌年評価するシステムをLMS上に構築し、初年度の実施を行い、目標としたものは達成できた。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		<p style="text-align: center;">令和4年度に向けた改善計画</p> 今年度は授業評価及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を共有できるよう、LMS上にサイトを立ち上げ、FDに関わる情報を共有し意見交換できるようにした。更に、各教員が各自の目標を授業評価アンケートの結果を基に設定し、その結果を翌年評価するシステムをLMS上に構築し運用を開始した。 来年度も引き続き理工学域共通の授業アンケートを活用して、各自の目標に従って授業改善を行うことが求めてゆく。LMSを活用し組織的にその活用を推進する。

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input checked="" type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に關係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
理工3学類FD研修会	3月6日	留学生教育	3学類の学類長、FD委員、ほか51名	機械工学類、フロンティア工学類と合同開催	

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
3	シラバスの基本的項目について点検し、問題ないことを確認し、学類で共有した。授業科目の英語化について点検した。教員相互の授業参観としてモデル授業について実施した。成績評価基準の記載を点検し、成績分布を調査し、問題ないことを確認し、学類で共有した。理工3学類合同のFD研修会を実施した。教育方法の改善に組織的に取り組み、推進できた。よって本年度のFD活動は概ね評価できる。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

前年度に構築したLMS上のシステムを今年度も活用し、各教員が授業評価アンケートの結果を評価し、次の目標を設定し、授業改善を行った。この授業改善に関する組織的な取り組みを来年度も継続する。

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 地球社会基盤学類・地球社会基盤学専攻

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	3	コロナ禍におけるオンライン授業(含むハイフレックス型)におけるライブ配信ツールの利用難点や必要な遠隔配信関連設備に関するアンケートを実施し、関連部局と情報共有を諮り、その一部はサポートページにおけるFAQの充実にも寄与したことは評価できる。学類FDシンポジウムにおいては学類・専攻のカリキュラム全体および各段階における学習到達目標について構成員との意識共有が図れた。総じて、概ね評価できるFD活動であった。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		<p style="text-align: center;">令和4年度に向けた改善計画</p> カリキュラム改善の取り組みとして、昨年度まで、カリキュラム再編WGにて、新学類一巡目のカリキュラムについての検証、および新専攻のカリキュラムについて議論してきた。今年度からは、学類、専攻ともに改善された新しいカリキュラムがスタートしたことから、今後、学類・専攻内にて検証を行っていく予定である。 また、授業方法改善の取り組みとして、学類・専攻内にてFDを開催し、教育方法改善のための情報共有と意見交換を行う計画である。

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
地球社会基盤学類 FDシンポジウム	10月31日	授業にDXを取り入れている教員からの話題提供 学類内の優秀教員による講演 JABEE関連の情報共有	学類長、専攻長、FD委員ほか22名		
教員向けショートレクチャー	6月3日	Dr. Noboru Yonemitsuによるカナダ、ブリティッシュコロンビア大学(UBC)における土木工学の研究教育環境とその取り組みについて意見交換を行った	FD委員ほか6名		

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
3	コロナ禍におけるオンライン授業が増えるなかで授業の質を落とすことなく、DX技術などの新技術を活用した新しい授業方法について検討するため、学類FDシンポジウムを開催し、DX技術を活用した授業を行っている教員による話題提供から授業改善に役立つ授業方法の共有を行った。また、本学類内では、これまで卒業生によるアンケートから優秀教員の選出を行っており、その優秀教員の授業方法について話題提供および意見交換することでそれぞれの教員の授業改善につながる活動を行った。 以上の活動から、「概ね評価できる」FD活動であったと評価した。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートの結果をみると、回答率が悪く、全体の意見を網羅したものではないが、環境都市コース以外の地球惑星科学コース、土木防災コースは、「あまり達成していない」、「全く達成していない」と回答した学生はいない。学類内において、独自のアンケートを行っており、そちらの結果と比較しながら、授業改善に活かしたい。また、学類内アンケートにより選出された優秀教員に授業方法を講演頂き、そのテクニックを情報共有しており、それらの活動を通して今後も教育能力の底上げをしていきたい。

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 生命理工学類・生命理工学専攻

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	3	授業評価アンケートの回答率の向上に努めた結果、かなり改善した。毎月開催の学類会議において、教育方法の改善について話し合う時間を設け、様々な問題点について話し合った。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		<p>令和4年度に向けた改善計画</p> <p>アンケート結果と内容を学類会議等で検討し、コース別の次年度の改善についての方針を決めた。特に回収率の向上やアンケート項目の見直し、アンケート情報の共有、また授業内容で注意すべき時期などに改善点があることが分析から示唆されたため、これらの点についての改善に取り組んでいくこととした。</p>

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に關係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
実施なし					

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
3	各教員にシラバスの内容を確認の上、特に授業評価アンケートの回答率と評価の点検を求めた。回答率が昨年より低い傾向であったため学生に周知する必要があると考えられ、改善案についても意見を求めた。さらに成績評価においては、評価基準や成績分布について問題がないか確認を求めた。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

授業評価アンケートについては、各教員にアンケート結果の確認を周知、それに基づいた授業内容の改善を求めた。卒業・修了者アンケートについては、学類会議にて大まかな結果報告を行い、意見聴取を行った。また授業評価アンケートと同様に回答率が低い傾向にあったため、通知の方法を改善することとした。
--

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 医学類

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	4	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大下においても、昨年度の経験をもとに、医学系FD研修会を定期的実施することができた。 ・医学系FD研修会のオンデマンド配信を開始することで、より多くの教員がFDの内容をいつでも閲覧できる仕組みを構築した。 ・チュートリアル教育のチューター研修会を毎年開催することにより、教員のチュートリアル教育に対する理解が深まった。 ・OSCEステーション責任者会議は、責任者に対する説明・打合せを行った後、各責任者がそれぞれのステーションの担当教員へ説明を行う方式を取っており、多数の担当教員への説明が効果的に行われた。 ・カリキュラム評価委員会を3回開催し、科目別評価及び教員への評価のフィードバック、また評価に対する意見聴取等を行った。今年度よりカリキュラム評価委員会に学生が参画している。 ・昨年度に引き続き、1-6年次に対してフォーカス・グループ・インタビューを実施し、その回答をまとめ、カリキュラム等の改善に結びつけていく。 ・JACMEによる医学教育分野別認証を受審し、今後の医学類教育の改善のための体制が構築されてきた。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		<p style="text-align: center;">令和4年度に向けた改善計画</p> カリキュラム委員会及び教育委員会を中心に、教育カリキュラムの改善に取り組む。FD委員会委員に学生支援委員会委員、基礎系教員、臨床系WG委員、サブスペシャリティローテーション委員を参画させ、医学系FD研修会の内容の充実を図る。

【令和3年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()

②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()
-----------------------	--

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(授業参観を計画していない。教員相互の授業参観は、今後計画する予定である。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(未実施。医学IR室を中心に今後検証を行う予定である。)

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
第1回医学系FD研修会	4月11日	金沢大学医学類の医学教育	FD委員 含む53名		
第2回医学系FD研修会	5月9日	明日からできるアクティブ・ラーニング	FD委員 含む55名		
第3回医学系FD研修会	6月13日	ウィズコロナでの講義	FD委員 含む35名		
第4回医学系FD研修会	7月11日	ウィズコロナでの臨床実習	FD委員 含む41名		
医学系FD研修会・特別企画	7月27日	授業をやめ、医療現場を経験すれば、学生は自ら勉強する	FD委員 含む51名		
第5回医学系FD研修会	9月12日	教職協働	FD委員 含む28名		
第6回医学系FD研修会	10月17日	医学教育におけるDXの推進	FD委員 含む28名		
第7回医学系FD研修会	11月14日	学生の評価	FD委員 含む36名		
第8回医学系FD研修会	12月12日	シラバスの作成方法	FD委員 含む26名		
第9回医学系FD研修会	1月16日	医薬保健学域における授業英語化について	FD委員 含む45名		○
第10回医学系FD研修会	2月1日	患者安全教育と患者安全のための教育	FD委員 含む17名		
第11回医学系FD研修会	2月13日	学生支援 精神科の立場から	FD委員 含む55名		
第12回医学系FD研修会	3月13日	医学教育モデル・コア・カリキュラム改訂の概要	FD委員 含む32名		

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5—1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
4	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年10月1日に医学教育分野評価基準に適合しているとの認証を受けた。日本医学教育評価機構(JACME)から評価された評価報告書を踏まえて、今後の改善に向けて取り組んでいる。 ・医学類FD委員会委員に学生支援委員会委員、基礎系教員、臨床系WG委員が新たに参画し、内容の一層の充実に繋がった。新型コロナウイルス感染症の拡大下においても、医学系FD研修会を月1回程度オンラインで開催し、年間の参加者数は過去最多となった。医学系FD研修会のオンデマンド配信は継続し、より多くの教員がFDの内容をいつでも閲覧できる仕組みを構築している。また、年2回未満の参加者に対しては、オンデマンド教材の視聴とレポート作成を課した。 ・チュートリアル教育のチューター研修会を毎年開催することにより、教員のチュートリアル教育に対する理解が深まった。 ・OSCEステーション責任者会議は、責任者に対する説明・打合せを行った後、各責任者がそれぞれのステーションの担当教員へ説明を行う方式を取っており、多人数の担当教員への説明が効果的に行われた。 ・カリキュラム評価委員会を定期的に開催し、科目別評価及び教員への評価のフィードバック、また評価に対する意見聴取等を行った。昨年度より学生が委員会に参画している。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5—2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

カリキュラム委員会及び教育委員会を中心に、教育カリキュラムの改善に取り組む。医療人材教育研究センターの設立に伴い、医薬保健学域でのHD研修会の実施を予定している。

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 薬学類(創薬科学類)・創薬科学専攻・薬学専攻

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	3	金沢大学の方針に従ったFD活動を今年度も実施した。薬学系では毎年、全教員を対象とする薬学系FD研修会を開催するとともに、新任教員を対象とした研修会を独自に開催することで、教育研究の質の向上と教務内容全般の確認作業を行っている。本年度も12月にFD研修会を開催し、公務欠席者を除けば、100%の出席率であった。本年度のFD研修会においては、「ポストコロナ・ウィズコロナの学生のメンタルケア」をテーマに、講演と教員間での意見交換を行った。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画 令和3年度から薬学・創薬科学類が改組し、薬学類の規模の拡大、医薬科学類の新設に伴い、前年度に引き続き、専門知識と課題探求能力、さらに国際感覚と倫理観を有する学生を育成する。令和4年度もFD研修会を継続実施し、授業アンケート結果を踏まえた教員の教育能力向上に向けた取り組みを行う。

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
令和4年度薬学系新任教員 教務関連研修会	5月25日	教務全般の説明(カリキュラム、履修、成績判定、アカンサスポータル運用、授業アンケート、アドバイザー制度)	薬学学類長、FD委員長、他5名	国際基幹教育院の協力を得た。	○
令和4年度 薬学系(学類・大学院研究教育)FD研修会	12月11日	研修テーマ「予習復習用動画教材の作成とLMSへの掲載方法」:学術メディア創成センター 森 祥寛先生講演、 「ハラスメントの防止 - 行為者にならないために -」:人間社会研究域 学校教育系・総合相談室統括 吉川 一義先生講演	薬学教員 49名	全教員に参加義務を課している。	○

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
3	金沢大学の方針に従ったFD活動を今年度も実施した。薬学系では毎年、全教員を対象とする薬学系FD研修会を開催するとともに、新任教員を対象とした研修会を独自に開催することで、教育研究の質の向上と教務内容全般の確認作業を行っている。本年度も12月にFD研修会を開催し、公務欠席者を除けば、100%の出席率であった。本年度のFD研修会においては、「予習復習用動画教材の作成とLMSへの掲載方法」、「ハラスメントの防止 - 行為者にならないために -」をテーマに講演いただき、教員の能力及び資質向上となった。

【令和4年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

学類長・専攻長、学類・大学院の教務・学生生活委員長、就職担当教員、FD委員会委員長が卒業・修了者に対するアンケート結果を確認した。アンケートの結果から、学修等の良好な達成度、「金沢大学で学んだことに満足している」の設問の回答が100%という結果も得られた。現行の授業内容・方法が学生にとって概ね適切であると分析している。令和5年度もFD研修会を継続実施し、授業評価アンケート結果を踏まえた教員の教育能力向上に向けた取り組みを行う。

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 医薬科学類

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	3	シラバスの作成や授業評価アンケートの分析など、概ねFDの主幹部については実施できていたが、シラバスの点検・確認・周知体制や、FD活動といった組織的な取り組みについては、初年度ということもあり準備不足であり、今後の課題であるとする。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画 既にアンケート結果の共有や分析、フィードバックについては学類会議で実施しているところであり、学類会議内あるいは教務・学生生活委員会内に仕組みを導入する形で制度を定着させる。

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(複数の教員が担当する科目において、オンライン講義を相互に視聴できるようにした。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
各教員が所属する系で開催されたFD研修会に参加した。 学類長ほか4名は薬学系の研修会(1回)へ、副学類長ほか4名は医学系の研修会(13回のうち2回以上)へ、FD担当委員は保健学系の研修会(3回)へ参加した。					

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
3	教育に関するFD(授業評価アンケートの結果を学類会議で共有する、シラバスの確認)については概ね実施できていた。一方、組織だったFD活動(FD研修会など)については今後検討する。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

授業評価アンケート内容のうち、講義に関する提案(自由記載含む)が含まれている場合、その内容について学類会議で共有し、必要に応じて担当教員に照会し、もっともな提案については改善を促すなど、講義のあり方に実際に反映されるように取り組む。

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 保健学類・保健学専攻

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	4	今年度の保健学類FD研修会では、「自死の予防を含めた学生のメンタルサポートケア」と「ハラスメント防止」に関わる研修会を実施し、全教職員にそれらの対応等を周知した。また講義等の取り組みの改善においては、昨年と同様に、アクティブ・ラーニングを含めたオンラインによる高大接続プログラム・講義を継続し、5専攻横断型の講義として充実度がより深まったものと考えられる。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画 回答率の改善においては、今後もクラス担任や指導教員を通して学生に周知していきたい。また教育方法の改善等においては、アフターコロナの講義を見据えて従来の対面講義に加え、オンライン講義を積極的に取り入れたブレンド型講義に関する研修会等を実施して、今後の授業・カリキュラム等の改善に努めていきたい。

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組の実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
令和4年度第1回保健学系FD研修会	10月5日	現在の大学生の特徴から見えてくること ～学習意欲向上に導く支援を目指して～	保健学類長, FD委員長, ほか63名		
令和4年度第2回保健学系FD研修会	11月2日	こころの健康とゲートキーパーについて	保健学類長, FD委員長, ほか40名		
令和4年度第3回保健学系FD研修会	2月22日	医学教育におけるハラスメント防止について	保健学類長, FD委員長, ほか45名		

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
4	今年度は保健学系独自でFD研修会を3回開催し、「学習意欲向上に導く支援」「こころの健康とゲートキーパー」「ハラスメント防止」に関わる内容を取り上げた。多くの教職員が参加し、事後に実施したアンケートの結果も良好であった。医学系FD研修会についても毎回案内を行い、参加を促すことによって、医学教育に関するさまざまなトピックを学ぶ機会を提供した。また、授業評価アンケートについては、実施期間等を学生にアナウンスするだけでなく、クラス担任や指導教員からも学生に周知を行うなど、回答率向上のための工夫を講じるとともに、アンケート結果の授業担当教員へのフィードバックを行った。さらに、授業の改善や教育の充実を目的に、学類2、3年生を対象とした投票結果に基づき、優秀教育教員の選出を行った。全体を通して、予定していた活動を全て実施することができたため、大いに評価できると判断した。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

アンケート結果の授業担当教員へのフィードバックを引き続き行うとともに、集計結果から判明した改善すべき点については、改善に向けた働きかけや取り組みを進めていきたい。また、各教員がそれぞれの担当する授業で行っている優れた取り組みのノウハウを共有する機会を設けることや、オンライン講義を積極的に取り入れたブレンド型講義に関する研修会等を実施して、今後の授業の改善に努めていきたい。

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 人間社会環境研究科

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	3	昨年度に教員に対して実施した遠隔授業と研究指導についてのアンケート、修了者アンケート、授業評価アンケートに基づき明確になった問題点に対応した施策・FD研修会を行うことができた。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画 授業評価アンケート及び修了者アンケートの結果について情報共有し、改善について検討するとともに、これらのデータを参考にして新設の大学院GS科目等の内容や実施方法の検討を行う。

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (コロナ禍の感染対策からも今年度は授業参観を行っていない。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (大学院授科目は5名以下の科目が多く、分布の偏りについて検証できるだけのデータを得られていないことから現状では成績評価分布について調査を計画していない。)

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
令和4年度第1回人間社会環境研究科FD研修会	7月4日	博士論文研究基礎力審査(Qualifying Examination:QE)について米国の大学院制度と本学の制度を比較し報告	小島研究科長ほか30名		○
令和4年度第2回人間社会環境研究科FDセミナー	8月24日	大学院修了後の進路について人材派遣会社担当者からの見解報告と教員との意見交換	小島研究科長ほか30名	オンラインで実施	
令和4年度第3回合同FD研修会(学域との合同研究会)	3月8日	人間社会学域全学類学生及び大学院在生に対して実施した大学院進学意識調査の結果報告	小島研究科長ほか40名(オンライン参加を含む)	大学院合同セミナーの一部として法学研究科法学・政治学専攻と共催。	

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
4	令和4年度はFD研修会の回数を増やし、QEの新制度についての指導方法や、大学院修了後の進路に係る学生指導に役立つ情報を共有し教員間で議論した。また、大学院進学に関する学生意識調査を人間社会学域の全学類の学生と、人間社会環境研究科博士前期課程及び法学研究科法学・政治学専攻の在学者に対し令和4年12月に実施した。意識調査アンケートの結果について、FD研修会を開催し情報共有した。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

各種アンケートの結果について情報共有し、改善について検討するとともに、これらを参考に新設の大学院GS科目等の内容や実施方法の検討を行う。

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 医薬保健学総合研究科(修士課程・医学博士課程)

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	3	国際基幹教育院との共催により、アクティブ・ラーニングを主としたFD講習会を定期的を実施することができた(医学類との合同開催) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会は遠隔会議システムを用いた開催とした。授業評価アンケートについては、Webによる効率的なアンケートを主体実施とすることを目指す。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画 修了者アンケートの結果から、医学博士課程、修士課程ともに概ね学修等に満足している結果が得られた。 医学博士課程においては、課題が2つ明らかとなった。①複数指導体制について、3分の1の学生が十分に認識していない結果であった。今後は本人に周知するなど、指導体制を充実させることを検討する。②単位の修得方法、時期が分かりにくかったという意見が複数みられた。そのため、履修スケジュールを新たに手引きに記載することとした。さらに、履修案内を密に行う方法を検討する。 修士課程においては、在学期間中すべてコロナ禍の影響を受けた学生が修了した。在学期間中はWebによる授業がメインとなったため、ポストコロナに向けて、対面授業や交流を促進することとした。

【令和3年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(一部のオンデマンド授業(オムニバス形式)では、科目担当教員間での相互の授業内容確認を可能とした。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
医学系FD研修会	毎月1回第2月曜日(4月、8月を除く)	アクティブ・ラーニング(特に授業のオンライン化に伴う手法)、カリキュラムとポリシー、シラバス、学生支援(メンタルヘルス、留学生対応)等	20名～50名		○
石川県がん診療連携拠点病院研修会	7月21日、11月24日、3月23日(計3回)	北信がんプロが関与して開催されている、診療に関する研修会で、臨床に関わる医療従事者等が受講した。	30名～60名		

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
3	国際基幹教育院との共催により、アクティブ・ラーニングを主としたFD講習会を定期的に行うことができた(医学類との合同開催)。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会は遠隔会議システムを用いた開催とした。 授業評価アンケートについては、Webによる効率的なアンケートを主体実施とすることを旨とする。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

<p>修了者アンケートの結果から、医学博士課程、修士課程ともに概ね学修等に満足している結果が得られた。</p> <p>医学博士課程においては、課題が2つ明らかとなった。①複数指導体制について、学生に注意喚起などを行ったものの、十分に認識していない学生が約半数存在した。指導教員からの啓発、学生達への通知の強化を今後検討する。②履修スケジュールを新たに手引きに記載することとしたが、単位の修得方法、時期を理解しにくいという学生意見が残存した。さらに、履修案内を密に行う方法を検討する。修士課程においては、在学期間中すべてコロナ禍の影響を受けた学生が修了した。既に対面授業がメインとなりつつあるが、ポストコロナに向けて、対面授業や交流を促進する。</p>

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 先進予防医学研究科

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	3	引き続き、3大学共用のVOD教材の英語化を進め、すべての英語化を達成することができた。また、先進予防医学研究科3大学合同FD講演会において、医療情報データベースを用いた臨床疫学研究と授業への対応について教員間で情報を共有し、教育方法の改善へつなげることができた。また、3大学共同専攻の教育活動等の改善を図るための自己点検・評価ならびに外部評価を実施した。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		<p>令和4年度に向けた改善計画</p> <p>千葉大学・金沢大学・長崎大学先進予防医学共同専攻として実施した自己点検・評価ならびに外部評価結果に基づき、授業アンケートおよび修了者に対するアンケートを教育活動改善に活用するための3大学共同のシステム作りに取り組む。効果的なオンラインコンテンツ(講義ならびに実習)を増やし、有効に活用するために、今後も3大学合同FD講習会を継続実施し、シラバス記載内容ならびに教育方法の改善に取り組む。</p>

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input checked="" type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(一部のオンデマンド授業(オムニバス形式)では、科目担当教員間での相互の授業内容確認を可能とした。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に關係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
金沢大学・千葉大学・金沢大学 合同 先進予防医学共同専攻 FD講演会	1月31日	共同専攻合同のFD講演会を令和4年度は本学主催で実施。「次世代医療基盤法に基づく医療情報の収集と利活用の現状、課題及び展望」のテーマで、Webにより開催した。	3大学の担当教員、学生 71名		

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
3	シラバス点検により、主に英語化率に関する記載内容の改善を図った。千葉大学・金沢大学・長崎大学先進予防医学共同専攻合同FD講演会において、医療情報の収集と利活用に関する情報等を共有し、教育方法の改善へつなげることができた。また、令和3年度に実施した自己点検・評価ならびに外部評価を参考にしつつ、3大学共同専攻の教育活動等の改善を図ることができた。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

3大学先進予防医学共同専攻として実施した自己点検・評価ならびに外部評価結果に基づき、授業評価アンケートおよび修了者に対するアンケートを教育活動改善に活用するための、3大学共同のシステム作りに引き続き取り組む。効果的なオンラインコンテンツ(講義ならびに実習)を増やし、有効に活用するため、今後も3大学合同FD講習会を継続して実施し、シラバス記載内容ならびに教育方法の改善に取り組む。
--

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 新学術創成研究科

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	3	教育内容及び実施方法について、教員間で積極的に議論・検討を行う機会を設けることができた。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画
		アンケート結果を元に専攻毎の教務・学生生活委員会において次回FD研修会のトピックスを精査の上、研修会を開催する予定。

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(融合科学共同専攻において、「異分野『超』体験セッションⅠ(博士前期課程)・Ⅱ(博士後期課程)」の授業を、専任教員に遠隔配信(web EX)にて公開した。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
融合科学共同専攻FD研修会	3月13日	本学とJAIST間で相互の研究内容について理解を深めるとともに、異分野融合を促進させる指導方法について検討する。	両大学専攻長 ほか18名		
ナノ生命科学専攻FD研修会	3月6日	留学生受け入れ時の留意点、保健管理センターにおける留学生の対応について直接の担当者からのレクチャーを受ける	専攻長、教務 委員長ほか 5名	理工3学類合同FD 研修会	○

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
3	FD研修会により、教育内容及び実施方法について、教員間で積極的に検討を行う機会を設けることができた。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

各専攻事の教務・学生生活委員会等で、アンケート結果より課題を抽出し、次回FD研修会での実施内容を整理し、研修会を開催する予定。

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 法学研究科(修士課程・専門職学位課程)

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	4	関係科目担当教員によるシラバスチェック、授業参観やそれに基づく意見交換会、FD研修会、他大学との合同FDなどを通じ、組織的・継続的に、可能な限りの取組がなされ、毎年改善されている。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画
		【法務専攻】アンケート結果及び、各教員によるアンケートに対する所感・意見をとりまとめて共有し、FD研修会において検討する。

【令和3年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。(法学・政治学専攻) <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。(法学・政治学専攻) <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。(法務専攻) <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> その他(弁護士による授業参観も実施し、意見交換会において、実際に参観した弁護士からの意見を聴取している(法務専攻))

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。(法務専攻) <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。(法務専攻) <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。(法務専攻) <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に關係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数(概数)	備考	SGU
第1回FD研修会	6月14日	学生のITリテラシーと指導について議論	専攻担当 教員22名	法学類と合同で実施	○
大学院合同FD研修会	3月8日	大学院進学に関する意識調査の結果報告	稲角専攻長 ほか40名	人間社会環境研究科と 合同で実施	○
法学研究科・法学類合同FD研修会	12月20日	法学類新規開講「入門ロースクール」	34名 (研究科長、法学・ 政治学専攻長、法 務専攻長、法学類 長含む)	法学研究科と法学類の 合同開催	
【法務専攻】第1回意見交換会	7月19日	授業及び自習支援等の学修支援の状況、弁護士による自習支援の意義	教員11名 (専攻長含む)、弁 護士6名		
【法務専攻】第1回FD研修会	9月6日	金沢弁護士会支援委員会の学修支援、千葉大学からの教材提供、前期の授業	教員12名 (専攻長含む)		
【法務専攻】第2回意見交換会	1月20日	弁護士からの授業または授業参観をしての感想、学生の学修状況、論述能力の涵養	教員11名 (専攻長含む)、弁 護士7名		
【法務専攻】第2回FD研修会	3月14日	共通到達度確認試験の結果、新年度からの授業形態、定期試験問題など	教員11名 (専攻長含む)		

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
4	・大学院進学に関する意識調査を学類学生と専攻所属の学生に対して実施し、その結果についてFD研修会において報告し議論した。大学院進学を希望する学生や専攻の在学者の今後の指導に活かせる情報が共有された(法学・政治学専攻)。 ・組織的・継続的に、可能な限りの取組がなされ、毎年改善されている(法務専攻)。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

・学生アンケートの結果と議論で共有された教員の所見や問題提起を参考として在学者の指導を行い、大学院説明会の内容に反映させることを検討する。(法学・政治学専攻) ・アンケート結果、及び、各教員によるアンケートに対する所感・意見をとりまとめて教員間で共有し、FD研修会において継続的に検討する。また、意見交換会の際に、弁護士からの意見も聴取する(法務専攻)。
--

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 教職実践研究科

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	4	年度当初より、テーマに沿ったFD計画を立て、それに沿ったFD活動を実施してきた。教員・大学院学生への公開授業を実施するとともに、活発な意見交換も展開した。将来構想委員会を立ち上げ、探究学習や共生教育を多面的・多角的に展開することができ、さらに特別支援教育の専修免許取得が可能なカリキュラム開発に取り組んだ。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画
		昨年度の授業評価アンケート等をもとにして、教職実践研究科におけるFD活動を年3回計画している(公開授業とそれをもとにした授業研究会(7~12月)、及び実践研究報告会における大学院学生の発表に関する検討会(1~2月))。また、将来構想委員会において、探究学習や共生教育を多面的・多角的に展開することができ、さらに特別支援教育の専修免許取得が可能なカリキュラム開発を行っていく予定である。

【令和3年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input checked="" type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
第1回FD研修会	5月26日	金沢大学附属コラボレーション推進室長福田晃氏による講演『5校園の連続性を生かした未来教育』附属学校園将来構想(金沢モデル)アクションプラン	大谷研究科ほか8名		
第2回FD研修会	8月22日	学校教育学類・教職実践研究科・附属学校園研究推進委員会主催「夏の研究フォーラム」へ参加	大谷研究科ほか10名	学校教育学類、附属学校園と共催	
第3回FD研修会	1月18日	「学習デザイン研究Ⅱ」の研究授業及び整理会	大谷研究科ほか25名		

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
4	令和5年度から「探究教育」と「共生教育」の2領域の高度化科目での学びがスタートすることを踏まえ、①教員・大学院学生への、「探究」に係る公開授業を実施し、活発な意見交換も展開した。②附属学校園との連携を深めるために夏の研究フォーラムに積極的に参加した。③金沢大学附属コラボレーション推進室長福田晃氏の講演から(金沢モデル)アクションプランについて学んだ。また、将来構想委員会において、探究学習や共生教育を多面的・多角的に展開することができ、さらに特別支援教育の専修免許取得が可能なカリキュラム開発に取り組んだ。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

教職実践研究科におけるFD活動を、公開授業を含む年3回計画している。令和5年度新設「探究教育」と「共生教育」の2領域の高度化科目に係る内容等についてFD会議を定期的開催し、研究・検証する。

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 国際基幹教育院(GS教育部門)

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	3	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症問題によって授業実施方法が読めない不安な状況であった。そのような中、オンライン形式のFD研修会を年度内に2回実施し、さらに各科目で自主的なFDを平均3回実施しており、オンラインでありながら効果的なアクティブ・ラーニングを実現する、あるいは英語授業の効果を向上させるなど、授業改善にむけた効果的なFDが実施できていたと考えている。照会事項6に記載した通り、GS教育系は各科目の独自性が強いが、全科目で共有できるテーマを見出し、これからも実施していきたい。その期待も含めて自己評価は最上位の「4」ではなく「3」とした。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがいる場合は職名を記載してください。なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に關係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
令和4年度第1回 国際基幹教育院FD研修会	10月13日	障がいのある学生の受講にあたり、どのような対応が求められるのか、どこまでの配慮をする必要があるのか等、支援を考える際に基本となる考え方の実践報告と意見交換を行った。	21名	GS教育系、外国語教育系から参加	
令和4年度第2回 国際基幹教育院FD研修会	12月15日	オンライン形式で「健康科学」を受講した経済学部(当時1年生)の学生が統計を基盤とした医学研究に興味を抱き、GS教育系唐島准教授の指導の下で研究活動を開始した。その研究成果が翌年に査読を有する国際医学雑誌に掲載された事例について報告され、意見交換を行った。	26名	GS教育系、外国語教育系から参加	
令和4年度第3回 国際基幹教育院FD研修会	2月21日	厚生労働省は睡眠分野における国民の健康づくりのための取組として、「健康づくりのための睡眠指針2014」を策定している。教育者や研究管理責任者が最新の科学的な睡眠に対する知識を持つことは、質の高い教育力の持続や研究の実行力や完遂性を高めることに繋がる。米国スタンフォード大学医学部精神科教授・スタンフォード睡眠・生体リズム研究所所長である西野精治先生により、睡眠と健康に関連する研究成果が発表され、意見交換が行われた。	98名	融合学域、教学マネジメントセンター、保健管理センターと共催	

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
3	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症問題によって授業実施方法が不安定な状況であった中、FD研修会を年度内に3回実施した。各科目で自主的なFDを複数回実施しており、効果的なアクティブ・ラーニングを実現する、あるいは英語授業の効果を向上させるなど、授業改善にむけた効果的なFDが実施できていたと考えている。GS教育系は医薬保健、理工、社会科学や芸術まで全学術領域にまたがる内容であり、学類と比較すると科目の個別性・特殊性がより強いと言えるが、全科目で共有できるテーマを見出し、これからもFDを実施していきたい。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

--

令和4年度FD活動報告(様式)

様式 1

部局等名 国際基幹教育院(外国語教育部門)

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	4	令和3年度は外国語教育部門のすべての教育企画部(EAP教育企画部・国際試験教育企画部・初習言語教育企画部)において、充実したFD活動を行った。部門内の研究会を計画通りに対面あるいはオンラインで開催し、それに加えて学内の他部局・学類、学外・海外の教員・企業との研究交流・連携・事例共有も行った。部門共通のテーマは、本学における言語科目の授業改善や授業内容・方法の質的充実を図ることであった。言語ツールの進化に対応できる言語教育の在り方、標準テストの変化に対応できる標準教材の開発、対面とオンラインによるハイブリッド授業の課題及び改善点、オンライン海外教育プログラム研修の内容を取り上げ、研究会及び日本国内外の研究者による講演会、企業との検討会を複数開催し、コロナ時代における言語教育の在りようについて検討を重ねた。その中でも特筆すべき取り組みとして、まずEAP教育企画部が前年度同様、金沢大学の英語教育と専門教育を繋ぐ取り組みに力を入れ、SGU英語教育に大いに貢献したことが挙げられる。国際試験教育企画部においては、TOEIC標準テストの形式変化に対応できる標準教材の開発にむけて出版社と研究機関の連携の展望を複数の出版社と検討を重ねた。また、初習言語教育企画部においては他大学の遠隔授業実践例とオンライン海外教育プログラム研修の内容を把握し、さらなる今後の改善を図ることに努めた。外国語部門が対面による授業参観を本年度実施できたことは今後の外国語系全体の授業改善に大いに繋がることが期待される。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画 —

【令和3年度の自己評価】4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()

②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()
-----------------------	---

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input checked="" type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input checked="" type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input checked="" type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input checked="" type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
第1回外国語教育系FD研修会 (EAP教育企画部) EAPワークショップ	7月13日	EAP授業担当者による実践報告及び意見交換	系長ほか 17名		○
第2回外国語教育系FD研修会 (国際試験教育企画部企画) Introducing the NGSL Project: corpus-based wordlists and online resources for systematic development of L2 vocabulary	7月25日	コーパスに基づいた英語語彙学習に有効な語彙リストについて	系長 ほか21名		○
第3回・第4回外国語教育系FD研修会 (国際試験教育企画部企画) 英語語彙問題作成セミナー—TOEIC Part 5で学ぶ問題作成の視点と考え方—	9月7日 9月14日	・英語語彙問題の作成のポイント解説とワークショップ ・作成問題の講評ワークショップ	系長 ほか14名	2回セットで実施	○
第3回全学 FD 研修会 金沢大学 EMI 科目(英語による科目)の現状と今後の展望	9月28日	EAP授業担当者による実践報告講演及び質疑応答	教育担当 理事, 学長 補佐, 系長 ほか 97名	全学FD研修会 対面とリモートのハイブリッド開催	○
第5回外国語教育系FD研修会 (EAP教育企画部) EAP Chat I	11月11日	EAP授業担当者による実践報告及び意見交換	系長ほか 11名		○
第4回金沢言語学フォーラム/初習言語(中国語)FD研修「中国語の時空間—いま、ここから見えるもの」	11月24日	本学名誉教授及び外部講師2名による中国語の直示体系に関する研究の講演	120名 (オンライン参加10名)	初習言語教育企画部企画, 人文共催	
外国語教育系FD活動 授業見学 (EAP教育企画部・国際試験教育企画部企画・初習言語教育企画部)	12月16日～12月22日	公開授業(家口美智子・菅野磨美・西村周浩・西村英希・Jana Klacanska・西嶋愉)	系長ほか 40名(6回)		

名称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
第6回外国語教育系FD研修会 (EAP教育企画部) EAP Chat II	1月16日	EAP授業担当者による実践報告及び意見交換	系長ほか 11名		○
FD/SD 講演会 (外部講師を招いての講演会)	3月17日	「学術リテラシー教育としてのライティング授業とライティングセンターの連携」	系長ほか42名 (内オンライン参加23名)	未来創成環との共催 対面とリモートのハイブリッド開催	

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
4	<p>令和4年度は外国語教育部門のすべての教育企画部(EAP教育企画部・国際試験教育企画部・初習言語教育企画部)において、新規の取り組みを含む充実したFD活動を実施した。EAP教育企画部では例年実施しているEAPワークショップ(コロナ禍のためオンライン開催)に加え、新たなFD活動として「EAP Chat I 及び II」を実施した。更にはEAP教育企画部では「金沢大学EMI科目の現状と今後の展望」と題した第3回全学FD研修会を対面及びオンラインでハイブリッド開催し、多くの方に参加いただいた。また、報告内容の一部を冊子体およびPDF版として発行し、学内教員に配布できるようにした。</p> <p>学生に語彙力向上を促す目的で「金沢大学ポキャブラリーコンテスト2022」をはじめ開催するにあたり外国語教育系でWGを立ち上げ、企画運営にあたり、英語担当教員全員から語彙問題を募った。これに関連し次に挙げる2つのFD活動を実施した。国際試験教育企画部では、語彙力をつけさせる有効な教授方法の研究分野における第一人者の一人を他大学から外部講師として招き、対面形式でワークショップ形式の研修会を実施した。これに加えて、TOEIC関連で多数の著書がある外部講師を招き、「英語語彙問題作成セミナー —TOEIC Part 5 で学ぶ問題作成の視点と考え方—」と題したワークショップ型研修会をハイブリッド形式(外部講師はオンライン)で開催した。</p> <p>融合学域、教学マネジメントセンター、保健管理センターと共催で国際基幹教育院として、スタンフォード大学教授による「スタンフォードと睡眠医学—最高の睡眠で最幸の人生を—」と題したFD講演研修会を実現した。また、人文学類/人間社会研究域言語研究グループとの共催で講師2名を招き、第4回金沢言語学フォーラム/初習言語(中国語)FD研修「中国語の時空間—いま、ここから見えるもの」を実施した。更には未来創成環、附属図書館との共催で他大学所属の第一人者を招き、「学術リテラシー教育としてのライティング授業とライティングセンターの連携」と題したFD/SD講演会を開催し、講演会後には講師から科目開発研究への助言を得るとともに関係教員との意見交換会を実施した。</p> <p>初習言語・EAP・TOEIC準備科目の6科目で相互授業見学を実施し、延べ40名が参加した充実したものとなった。</p> <p>具体的授業実践の相互見学、新たな教育支援に関連した多様なFD活動の取り組みに加え、他部局・学類と連携した講演・研修会が複数実施されるなど活発なFD活動が展開された。</p>

【令和4年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

--

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 学術メディア創成センター

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	3	データサイエンス基礎の本センターが担当している部分については、メール等を用いて授業改善に役立てることができたこと、令和4年度に向けてセンター教員全員で講習ができたので、概ね評価できる。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画 —

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
データサイエンス基礎研修会	3月23日	次年度(令和5年度)のデータサイエンス基礎の実施に向けた研修会	センター長 他8名		

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
3	データサイエンス基礎の本センターが担当している部分については、メール等を用いて授業改善に役立てることができたことや、slack等を用いてお互いの授業を報告し情報共有と即時の授業改善に役立てられたこと、および令和5年度に向けてセンター教員全員で講習ができたので、概ね評価できる。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

--

令和4年度FD活動報告(様式)

様式1

部局等名 国際機構

参考資料:「令和3年度金沢大学におけるFD活動に関する報告書」に記載した自己評価・総評及び令和4年度に向けた改善計画		
自己評価	令和3年度の自己評価	総評
令和3年度FD活動の自己評価及び総評	3	国際機構の授業は主に留学生対象であるため、令和2年度に引き続き、授業の大半を遠隔で提供することとなった。それに伴い、FD活動も、従来のような形で十分行われたとは考えないが、状況に応じて創意工夫し、講師間でより頻繁に情報共有するなど、出来る形での活動を行った。また令和3年度は自己点検評価を行い、報告書を公刊した。
授業評価アンケート及び令和3年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和4年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。		令和4年度に向けた改善計画
		—

【令和3年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下、令和4年度の貴部局等の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 シラバス改善のための取組みの実施状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①シラバスの基本的項目の点検 (教学マネジメント関連)	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの学修目標・学修成果の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの講義スケジュール(授業計画)の記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> ALの記載状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> ALに関する記載を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> その他()
②授業科目の英語化の点検 (SGU関連)	<input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を周知した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力状況をチェックした。 <input checked="" type="checkbox"/> 英文での入力を個別に依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> 英語化率の入力状況をチェックした。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項2 授業方法・カリキュラムの改善のための取組み等の実施状況

2-1 授業評価アンケート及び卒業・修了者に対するアンケートの結果を、授業方法・カリキュラムの改善のために、どのように活用しましたか。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①授業評価アンケート結果の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者個人に返却した。 <input checked="" type="checkbox"/> 科目担当者間で共有した。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 課題のある科目に注意を行った。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも結果が改善した。 <input type="checkbox"/> その他()
②卒業・修了者に対するアンケート結果の活用	<input type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で分析を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 教務委員(長)・学類長(研究科長)等が確認を行った。 <input checked="" type="checkbox"/> 学類(専攻又は研究科)で課題を共有した。 <input type="checkbox"/> 結果を公表した。 <input type="checkbox"/> 具体的な改善につなげた。 <input type="checkbox"/> その他()

2-2 下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
教員相互の授業参観(遠隔授業の参観を含む)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 授業カタログを活用した。 <input type="checkbox"/> モデル授業について実施した。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名未満)。 <input type="checkbox"/> ローテーションで実施した(5名以上)。 <input checked="" type="checkbox"/> すべての教員の授業を公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(総合日本語プログラムの授業はすべて、担当者が互いに教材や授業の進め方などについての報告および問題点の指摘などを行えるよう、定期的なミーティングを行っている。)

○照会事項3 成績評価基準等の作成・検証状況

下記について、令和4年度の実施状況を選択してください。なお、一部のコース等で実施した場合は、実施したコース等を()書きで記載してください。

観 点	以下のチェック項目について、該当するものに☑してください。
①成績評価基準等の作成・検証	<input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの成績評価基準の記載を依頼した。 <input checked="" type="checkbox"/> シラバスへの記載状況を確認した。 <input type="checkbox"/> 課題のある成績評価基準について改善を求めた。 <input type="checkbox"/> 前年度よりもルーブリックの記載科目が増加した。 <input type="checkbox"/> その他()
②成績評価方法の検証	<input checked="" type="checkbox"/> 成績評価分布を調査した。 <input type="checkbox"/> 成績評価分布を学類内で共有した。 <input type="checkbox"/> 偏った成績分布に対して、意見を聴取した。 <input type="checkbox"/> 前年度よりも成績分布に改善がみられた。 <input type="checkbox"/> その他()

○照会事項4 FD研修会の実施状況(本学主催)

FD講演会、FD関連の各種研修等(学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援及び研究等を含む)について、令和4年度の実施状況を記載してください。なお、他部局等との合同開催である場合は他部局等名を、貴部局等内の一部のコース等での開催である場合はコース等名を備考欄に記載してください。**参加者に学域・研究科長、学類・専攻長、FD活動組織関係者などがある場合は職名を記載してください。**なお、スーパーグローバル大学創成支援(SGU)事業に関係する内容が含まれる場合は、○印を記載してください。

名 称	開催日	概要	参加人数 (概数)	備考	SGU
国際機構FD強化週間	12月19日～23日	国際機構教員(非常勤講師含む)がお互いの授業を見学し意見交換を行った。	25名		
学生指導にかかるFD研修会	2月16日	前半:大学人として国際社会にどのようなマインドセットで対応していくべきかについての講演を聞いた。 後半:加速するAIの進化をどのように学生指導に取り入れるべきかについて、ChatGPTの使用を例にディスカッションを行った。	教務委員長、FD委員ほか5名	講師:金沢大学名誉教授 楠根重和	○

○照会事項5 令和4年度FD活動の自己評価及び総評

5-1 貴部局等での令和4年度のFD活動全体について、自己評価及び総評を記載してください。また、貴部局等で特色ある取り組みを行った場合は、詳細を記載してください(学類単位の特色ある取り組み担当の部局は様式4へ記載)。

令和4年度の自己評価	総評
3	国際機構には、留学生に充実した学修・生活指導を提供することに加え、既存の派遣・受け入れショートプログラムの運営と改善、並びに新規プログラムの開発が強く求められている。そのため令和4年度も、各担当分野の担当者同士が意見交換を重ね、創意工夫しながら活動を行った。具体的には、SNSの活用により、非常勤講師との情報共有を活性化したこと、また、今年度は、対面による授業相互見学を再開したことにより、FD活動を促進した。

【令和4年度の自己評価】4:大いに評価できる、3:概ね評価できる、2:あまり評価できない、1:ほとんど評価できない

5-2 授業評価アンケート及び令和4年度卒業・修了者に対するアンケートといった各種アンケートの集計結果等を踏まえ、令和5年度に行われる教育方法・カリキュラムの改善など教員の教育能力の向上のための組織的取組の計画について、具体的に記載してください。

--